

差出人：福井県安全環境部県民安全課

送信日：2015/9/30

スマホを狙う不正アプリは、700万超種類！！

～ゲームを装い、個人情報を抜き取りも～



ゲームや電池、電波の改善など便利なツールを装ったスマートフォン（スマホ）の不正アプリが急増しています。

電話帳やスケジュールなど重要な個人情報を管理することが多くなったスマホにインストールすることで、知らぬ間に大事な個人情報を抜き取られたり、勝手に遠隔操作されてしまうこともあります。なので注意が必要です。

現在確認されている不正アプリは700万超で、その手口は多様化、巧妙化しています。

ネットセキュリティー会社「トレンドマイクロ」（東京都）によると、スマホのOS「アンドロイド」を対象にした不正アプリは、平成25年3月には50万9千種類が確認されていましたが、同年9月には100万種類を超え、**平成27年6月には710万4千種類**に達しています。

不正アプリで多いのは、ゲームを装ってインストールさせ、起動したところで勝手に電話帳などの情報を抜き取り、ネットにつないで攻撃者に送信してしまうというものです。

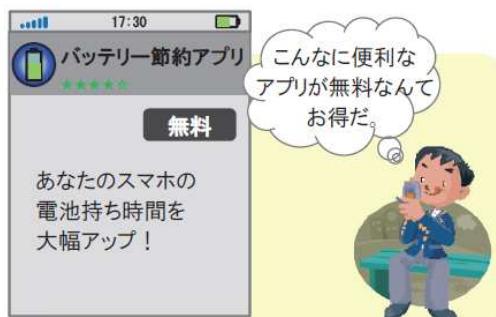
ゲーム自体は起動時の画面しか作られておらず、実際に遊ぶことができなくなっています。

また、インストールすることで外部のパソコンから遠隔操作が可能になる不正アプリまで登場しています。

遠隔操作されるようになると、**電話帳だけでなく、電話番号だけでメッセージのやりとりができるショートメッセージサービス（SMS）の内容や通話記録、撮影した写真まで丸見え**になってしまいます。

トレンドマイクロの担当者は、「スマホは常に攻撃の危機にさらされているという意識を持たなければならない」と強調し、「**信頼できる製作者がつくったものかどうかや、そのアプリがどんなデータを活用するかを確認してから取得するなど、個人でも注意**していく必要がある。」と呼びかけています。

【本情報は、9月22日付け産経新聞記事を引用しています。】



本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課 小林

電話：0776-20-0296（直通）メール：s-kobayashi-7g@pref.fukui.lg.jp

「家庭の日」推進テーマ9月「おとしよりをうやまい、お互に思いやる心を持とう」

「青少年育成の日」推進テーマ9月「社会ルールの大切さを教えよう」